

福井いきいき会新聞

2022年1月発行
発行：福井いきいき会
〒919-2901 福井市中央1-9-29
0776-28-6464
発行責任者 吉岡副会長

一生勉強 一生感動 一生青春 (第36号)



寒さに負けず庭に咲いた寒椿

新年に向けて、 当会役員挨拶

会長 福井康人
福井いきいき会の皆さんあけましておめでとうございます。今年で十年目に入りました。福井いきいき会も、最初は手探りの状態の井戸端会議でしたが、皆さんの元気な笑顔のおかげで無事新年を迎えることができました。お互いに多難な人生経験を乗り越えてこられたと存じますが、皆さんの素晴らしい出会いを通じてたくさんのありがたいご厚情を頂

戴し感謝に堪えません。ただ悲しいかな歳には勝てないもので多くの方がご参加不可能になつて参りました。八十歳を超えますと体力の変化がいつ起きても当然と言えらるでしょう。残りしばらくの人生を若者に嫌われず、お互いに我を張ることなく感謝の気持ちで真の思いやりを持ちながら、やっとなと出合った絆を大切に人として生きていくことを今年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。

副会長 小林久子

新しい年へ跳ぶ
新型コロナウイルスという疫病が世界中を襲い経験したことのない不安感が続いた二〇二一年。改めて感染症の恐ろしさを知ることになった。自然界がウィルスによって人間を試しているように思える。「環境少女」グレットウンベルさんが唱える温暖化防止に関心をもちたい。コロナ禍の中でいきいき会文化祭を実現した事は、会員の力の結集であり今後に期待したい。私たちは今何でもできる素晴らしい「時」を持つている。「時」を無

駄にしないで明日もまた来年も自分らしく佳き年にしてきるよう努めよう。

副会長 吉岡芳夫

当会は、設立から十年目に入ります。会の運営に携わる人は、当時七十五歳前後だったと思います。当会をさらに十年続けようとするなら、運営に携わる方は、その年頃の人が中心とならなければならぬでしょう。今後、会員の多くが八十歳を超えるようになってしまふので、これからは余生を楽しく過ごせる活動だけでよいと考えるのは、早計だと思えます。当会がこれまで果たしてきた役割は、まだ元気なのに行き先がない方々に、生き甲斐を与える場の提供であったはずで、今必要なのは、これから入会しようとする高齢者のために魅力的なサークル活動を用意することだと思います。一生勉強、一生感動、一生青春という当会のモットーは死語ではなく、これからも目指すべき当会の指針と言えましよう。

相談役 濱田芳雄

私たちの福井いきいき会が、平成二十五年に誕生してから今日まで、いきいき会に参加された方は、少なくとも、三百五十名以上になります。私は、昨年は病

かつたのですが、皆様から頂いた励ましのお言葉に元気がつけられ、年を越すことができませんでした。そこで、私の今年の課題は、皆様への恩返しとして、いきいき会の灯を消さないことと決意しました。後輩高齢者のためにも、当会が、私たち高齢者にとつて「なくてはならない場所」「心のゆとりがとれる場所」「力を付けられる場所」「楽しみを味わえる場所」「健康が保たれる場所」であるように、尽力していこうと思えます。終わりに皆様のお支えに感謝申し上げます。

顧問 寺岡弘文

地球温暖化、独裁国家盤踞、人倫喪失、等々。この「おぞい」世界を変えていくには、高齢者が先頭に立ち、輝いていかななくてはなりません。本会も十年近くが経過しました。ここで目標を大きく定めて、果敢に展開する時期に来ているように感じます。会員の皆様、大いに議論し入りますよう。

顧問 山田文雄

いきいき会のサークル活動に参加して思うのは高齢者に関心のある健康をテーマにする発言が増え議論が盛り上がることです。個人的なことでは恐縮ですが、昨身体調を崩してその大切

さが身に染みたと感じます。健康に限らず、福祉や家庭の問題などで女性会員の活発な意見が見られます。だから今年は何れを合わせて高齢者にとつてできるだけ身近で関心のあることをテーマに取り上げたら参加者が増え、会員の議論も活発になるのではないかと感じている次第です。

会員の奇稿

「象徴天皇制の危機が迫っている」

寺岡弘文

十二月十七日の歴史を築しむ会において、「大宝元年(七〇一年)王朝交代の真実」をお話ししました。その議論の過程で、「天皇制に危機が迫っているのに政治家達は一体どうしているのか」が、参加者全員の共通認識になりました。残念ながら、天皇は万世一系などといった、何処にも書いてないことが未だに大手を振つてのさばっています。「続日本紀」巻式には「建元為大宝元」と、大宝元年に建元したことが明記されています。建元とは新王朝の天子が新たに元号を定めたことで、単に年号が代わる改元とは峻別されます。「日本書紀」第三十巻の末尾には、「六九七年に持統天皇(実際は倭国筑紫王朝の最後の天子)が孫の珂瑠皇子に禅位し」、「続日本

がいをもちたらずことができ
ます。今後も彼女から眼を離
せません。
長引く腰痛

増永一夫

昨年、新年から半年間、
なごすこと、暗い日々を過
ぎすこと、はじまりは腰に
で痺れ、痛み、それから皮
膚の痒み、加わって、ち
とんど家から出る気が持
にもなれず、ただ部屋で
テレビを見、ラジオに耳
を傾けていました。
そんな中でも、腰が少
し楽な時は息抜きで外出
できたのが、何より、周
りも歩きため、家の五分
り、五十メートル歩く
のが、一杯で、よく
トレット運動は、肉を伸ば
が、軽い運動は、肉を伸ば
に、半年余りも、家で治
療するの、遅いこと、早
め、遅いこと、早
復するの、遅いこと、早
鯖江市、坂井市の温泉、
呂巡りも、入りました。友
から、腰にも効き目があ
るのと、この一週間に三
度は利用しましたね。
月日が過ぎる中、五月



炭酸ガスを含んだお風呂

から六月になつてやつと、
腰の楽な日があるように
なり、お茶でビールを
カラオケ、飲みながら歌を
少したたり、ママさんと
歌話も弾み、時間を忘れ
ることもありましたよ。
今では我慢できなかつ
たあの辛さが、よい薬の
おかげで、リハビリの腰
現在、努力しながら続け
ています。明るく健康で、
自分が一番の幸せだと感
じます。心の持ち方で良
さを生み出せるんですよ。
私はこんな人と
会ったことがあります。
一、三国連太郎(俳優)
二、日本映画界を牽引し、
圧倒的存在感をスクリーン
に、残した日本人を代表す
る名優の一人。私は、平
成二十年四月、東京山手
線の電車に乗っていたとき
と、人違いながらも声をかけ
たい

ところ、三国連太郎本人
でした。映画の画面で見
るより、さすがに年齢を
重ねて感じましたが、サ
インをもらうことができ
ました。
二、由紀さおり(歌手)
姉の安田祥子と共に童
謡コンサートにスタンプ
させ、童謡ブームの火つ
け役となる。由紀さんに
は、平成二十四年五月、
私の住む鯖江市豊保育園
にて子供たちに日本の歌
を聞かせる会で会いまし
た。
三、久里洋二(漫画家)
鯖江市出身。アトリエ
「久里実験漫画工房」を
設立し、「久里洋二漫画
集」を出版。アニメーション
の自主制作も始め、テ
レビ番組・CMなどへの
提供を数多く行った。鯖
江市の「まなべの館」の
名誉館長。
久里氏には、平成二十
二年二月、まなべの館の
開会式でお会いした。か
なりの年配ですが、さすが
芸術家は若い。
四、養老孟司(医学博士)
人間の根底に潜む心の
問題、社会現象の基底に
潜む問題などを、解剖学
や、脳科学などの知識を
交えつつ解説、著書「バ
カの世界」は新語・流行語
大賞を受賞した。
養老氏には、平成十八

年七月、越前市の環境博
で会うことができ、科学
者が、いかにも老練な科
者といった感じでした。
五、樋口英明(裁判官)
大飯原発三・四号機の
運転差し止めを命じた裁
判官。令和三年九月、開
「ユーアイふくい」で開
催された差しとめ裁判に
ついでに講演会でお会い
した。氏の理路整然たる
話し方に感服しました。
六、関口淳(念力スプ
リット少年)
スプリーン曲げなどの超
能力をもつという自称超
能力者。関口少年には、
昭和四十六年、名古屋丸
栄百貨店でのスプリーン
げ実践会で会いしました。
いきいき会会員の皆さ
んは、どんな有名な人に
会われたことがありますか?
十一月の
川柳同好会作品
おさえても声に怒りが
こもってる
南部 歳子
頼もしい短く病状
話す医師
吉岡 芳夫
生きるとは今が大切
この時間
齋藤栄三郎
早く来い 昔正月
今年金 小坂 武士

来年も 頑張れるかと
首かしげ 福井 康人
でも期待当たるはずない
宝くじ 林 進
お年玉物価に比例と
孫ねだる 松島 成美
大相撲 観客だけが
マスクがけ 大野 勉
古き辞書 貫禄だけで
様になり 千田 節子
心にも 杖がほしい
年となる 新田ヨシエ
大掃除 小さな過去も
詰めて出す 増永 一夫
羨まし夫婦で行ける
老いの旅 上坂 征夫
慣れて来たスマホ検索
やっとこさ 吉野 廣
超ビッグ MVPを
満票で 澤村 玲子
マスク 顔外したくない
顔パンツ 吉田美恵子
ブロッコリー重さ比べて
カゴに入れ 長谷 正子
落ち鮎をねらって
しらすぎとんぼの目
小林 久子

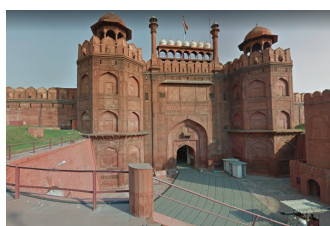
令和4年1月の行事予定表

日	曜日	活動場所	開始時間	行事名	
1	土				
2	日	新年のため			
3	月	4日まで休会			
4	火				
5	水	B	13:00	経済指標を考える会	
6	木	B	13:00	囲碁将棋	
		ハピリン4F	13:30	芸能倶楽部	
7	金	市体育館	13:00	ピンポンの会	
		B	13:00	卓話を聴く会	
8	土	Aマ	B	13:00	新聞記事を読む会
9	日	Aマ	B	13:00	夜明けの会
10	月		B	13:00	合唱サークル(40)
11	火		B	13:00	運営委員会
12	水		B	13:00	囲碁将棋
13	木	B	13:00	易しい科学の話	
		西体育館	13:00	ピンポンの会	
14	金	Aマ	B	13:00	よろず討論会
15	土	Aマ	B	10:00	私の健康法
		B	B	13:00	川柳同好会
16	日	Aマ			
17	月	B	13:00	短歌の会	
		別会場	13:00	手作りの会	
		西体育館	13:00	ピンポンの会	
18	火	B	10:00	楽しい暮らし方	
		B	13:00	映画鑑賞会	
19	水	アオッサ6階レクB	13:30	うたのサロン	
20	木		B	13:00	囲碁将棋
21	金	Aマ	B	13:00	歴史を楽しむ会
		ハピリン4F	13:30	芸能倶楽部	
22	土	Aマ			
23	日	Aマ			
24	月		B	13:00	スマホ勉強会
25	火		B	13:00	音楽鑑賞会
26	水		B	13:00	インターネットで世界旅行
27	木	アオッサ706・707号室	13:00	例会	
28	金	Aマ	コートダジュール	13:00	カラオケうた会
29	土	Aマ			
30	日	Aマ			
31	月				

Aマは、3階のマーじゃん室

令和四年 一月の行事予定
例会(講演)
 身近な地名から古代史へ
 講師 片桐哲郎氏
 久しぶりの外部講師の講演会です。
 片桐先生は、元福井県教育研究所長(専門は英語を務められた方です)。先生は、退職後に地元で「古代史を調べられ、演題の「身近な地名から、歴史の本を出版され、楽しい先生は多才で、真木柚布子が歌う足羽川雨情の詞もしておられます。新撰組が幕末の日本を

動かした「その二」
 講師 大野勉氏
 今回は、薩摩、長州、土佐等の藩が繰り広げ、幕論を背景に、佐幕派の会津藩主・松平容保が率いる京都・安永組が登る浪士の過激な出羽す。身の策士清八郎の動きを交えながら皆さんと一緒に考えたいと思います。十二月は、洋画は「仔鹿物語」邦画は「無法松の一生」を上映しました。見たい映画がありましたら主宰者(090-1392-5405)



デリーの赤い城

迄お知らせください。
インターネット世界旅行
 案内先
 人口十四億人弱の大国、インドの首都、デリーとニューデリーに行ってみましょう。
 これまで見てきた西洋とは全く違った文化や街並みが見られます。今回は、その第一回目です。

易しい科学の話
 (案内は吉岡副会長)
 炭酸ガスによる温暖化と新しい対策
 炭酸ガスが増えると地球の温暖化が進み、自然災害が過酷さを増してきます。炭酸ガスは、なぜ地球の温暖化を起すのでしょうか？温暖化を止めるには、炭酸ガスの排出を減らすか、その原理を解説し、温暖化を防止する新しい方法なども紹介したいと思います。
 講師 吉岡副会長
スマホ勉強会
 今からスマホを使うのは無理と思いませんか？まずは、何か一つでもできるようなになると、

案内簡単だとわかってくださいます。現金で支払う代わりにペイペイ(PayPay)で支払う、ふく割を使ったり引きをしてもらう。写真も送れるし、スマホの話しかけるだけで即座に情報が得られる。便利なスマホの使い方を一緒に勉強していきましょう。
 講師 吉岡副会長
カラオケうた会
 開催日を第四金曜日に変えましたので、参加者は注意してください。
ピンポンの会
 開催場所が、市体育館と西体育館の二か所になりましたので注意してください。